



2022年11月11日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員 若林 頼房
 (コード番号 3880 東証プライム)
 問 合 せ 先 執行役員経理部長 井川 準一
 (TEL. 03-6856-7513)

第2四半期業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正 剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との差異について、また、2023年3月期通期の連結業績予想の修正について下記の通りお知らせいたします。

併せて、2023年3月期の剰余金の配当及び配当予想の修正に関してお知らせいたします。

記

I. 上期業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正

1. 2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	300,000	△7,000	△7,000	△5,000	△30.13
今回発表実績 (B)	308,679	△7,265	△7,792	△8,301	△50.02
増減額 (B-A)	8,679	△265	△792	△3,301	
増減率 (%)	2.9%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	296,873	19,235	17,688	11,456	69.02

2. 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	660,000	3,000	500	△4,000	△24.10
今回発表予想 (B)	660,000	△14,000	△18,000	△30,000	△180.71
増減額 (B-A)	0	△17,000	△18,500	△26,000	
増減率 (%)	0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	612,314	37,569	37,696	23,721	142.91

3. 差異の理由及び修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高、営業利益及び経常利益は、前回発表(2022年8月12日)の業績予想からは概ね計画通りに推移したものの、2022年9月に発生した連結子会社のボイラー爆発事故による災害損失費用を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績予想を下回りました。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は、紙・板紙事業とホーム&パーソナルケア事業の主要製品での販売価格への転嫁を進めることで計画通り推移すると想定しています。一方で、営業利益及び経常利益につきましては、為替レートが歴史的水準で円安に進行していることやロシア・ウクライナ情勢による資源価格の高止まりが続いており、石炭や重油、チップ、パルプ等の主要原燃料の購入価格の上昇による製造コストの更なる悪化を見込んでいます。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の減益要因に加えて、連結子会社でのボイラー撤去に要する費用、組織・人員体制のスリム化及び生産体制の再構築を含めた構造改革に要する費用を特別損失として織り込んでいます。

<参考：通期>	前回発表予想時 (2022年8月12日)	今回発表予想時 (2022年11月11日)
	為替レート(想定期中平均) 135.0円/ドル	150.0円/ドル

当面は、これまで経験したことのない厳しい経営環境が続くことを想定し、引続き再生産可能な水準まで製品価格への転嫁を急ぐとともに、早期の収益回復に向け紙・板紙事業とホーム&パーソナルケア事業の構造改革を加速してまいります。

<参考：通期 セグメント別売上高・営業利益内訳>

	紙・板紙		ホーム&パーソナルケア		その他		計	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想(A)	340,000	△1,000	290,000	1,500	30,000	2,500	660,000	3,000
今回修正予想(B)	340,000	△11,000	290,000	△5,500	30,000	2,500	660,000	△14,000
増減額(B-A)	0	△10,000	0	△7,000	0	0	0	△17,000

II. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

1. 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株当たり配当金	7円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	1,173百万円	—	1,676百万円
効力発生日	2022年12月6日	—	2021年12月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月13日)	—	12円00銭	22円00銭
今回修正予想	—	9円00銭	16円00銭
当期実績	7円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	10円00銭	12円00銭	22円00銭

3. 減配の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識し、業績の状況や内部留保の充実等を勘案しながら安定的な配当を継続することを基本方針としています。

2023年3月期の中間配当につきましては、今回の実績値の差異、通期予想の下方修正を勘案し、誠に遺憾ながら従来予想から3円減額し、1株当たり7円00銭とすることといたしました。また、2023年3月期の期末配当につきましても、当面は厳しい事業環境が続くことを想定しており、従来予想から3円減額し、1株当たり9円00銭と修正いたします。

早期の収益回復に向け諸改革を進めてまいりますので、株主の皆様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、業績予想及び配当予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上